



# 恒さんが行く!



## 【表紙写真】

日々の生活に欠かせなくなったマスクは、おしゃれアイテムへと進化。様々な色や柄のものが売られ、目移りしてしまいます。しかし、このマスクたちとさよならできる日は、いつになるのでしょうか。

## 表紙になるかも?

あなたの写真で全国に温もりを届けてみませんか

『小さな親切』誌では、下記のテーマの写真を募集。お写真は本誌やWebサイトに掲載するほか表紙に使用させていただく場合があります。採用された方には、粗品をプレゼントいたします!

- 親切的風景
- あなたの街の素敵な風景
- あなたのほっとする場所

### 〈申込方法〉

- お写真は紙焼きではなく、下記の方法でデータでお送りください。

【メール添付】 skm1963@kindness.jp

【DVDなどを郵送】

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-4  
公益社団法人「小さな親切」運動本部 写真募集係

### 〈注意事項など〉

- 写真のサイズ：(スマホの場合) 800KB以上  
(デジタルカメラの場合) 3,456 × 2,304ピクセル以上
- 人物がうつっている場合は、肖像権の侵害がないようご注意ください。
- 他のコンテストなどへの応募作品はご遠慮ください。

「小さな親切」誌は、季刊発行

春号・5月、夏号・8月、秋号・11月、新春号・1月の予定です

2022年1月25日発行 通巻525号

編集・発行人 鈴木恒夫

発行所 公益社団法人「小さな親切」運動本部  
〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町2-20-4  
TEL.03-3263-2866 FAX.03-3263-3838  
https://www.kindness.jp/

印刷所 広研印刷株式会社

©無断転載禁止 落丁、乱丁はおとりかえいたします。

**去**年11月初めのこと。地元・横浜の私鉄のホームで電車を待っていると、後ろから「オイ、恒さんじゃなか」の声。振り返ると、中学校時代のサッカー部のチームメイト。

「おう、しばらく。お世話になりっぱなしで、すまん」「いや、いや。あんた元政治家だから、こんどの総選挙でも応援に走り回ってたんだろ」

「いや、オレ、今は公益社団法人の代表なんで、政治活動はいっさいしないし、できない。なによりオレ、今は政治家じゃなく“いじか”だよ」

「エッ、なに?“いじか”?」

「“せ”の字がなくなって、医者”医”事家だヨ。医者や病院通いばかりだよ」

すると、旧友が「なんだ、オレも同じヨ。今日もこれから医者へ行くところ」。

二人とも中学のころはサッカー少年同士で「お互いに、頭以外体に悪いところはない」などとふざけ合っていた仲。しかし、今や傘寿(80歳)を越えて……。

**私**はこの15年近くの間、予想もしていなかった病気に追まわられてきた。胃の初期ガンを内視鏡手術で取り除いてもらったこと、なんと4回。手のシビレが強くなって頰椎症性筋萎縮症の大手術を受けたのが6年ほど前。このときには、おまけに初期の喉頭ガンも見つかって、喉の手術。食事ができず、お腹に穴をあけて“胃ろう”を長期にわたって続けた。いまだにチューブを入れた穴の跡がお腹に残ったまま。もともとが高血圧体質で、かかりつけの内科に、降下剤を毎日飲みながら3カ月ごとの通院。前立腺肥大もあり、泌尿器科の医院にも3カ月ごとに。朝夕、排尿促進剤を飲み続けている毎日だ。外科手術後のフォローのため、リハビリテーションの自宅訪問看護も週一回。つまり、冒頭に書いた友人との会話どおり、“医事家”の日々が続いている。

**そ**んな私のもとに、ある日、私たちの運動に長い間関わりをもっている女性が初期の乳がんと診断され、しばらくの間活動を休むとの知らせが届いた。とくにお名前などは控えるが、私はすぐにご当人の携帯に電話を入れて、こうお伝えした。

「どうぞ、お大事にね。でもね、私は胃ガンだけでも4回手術をしてもらっています。あなたも早期発見と聞いていますから、最近のガン治療の技術はものすごい進歩なので、絶対に大丈夫。がんばってくださいね」

それにしても、最近のコロナ禍対策などを見聞きするにつけ、医師をはじめとする医療等のご関係者の、言葉では言い尽くせないありがたさに、あらためて深い感謝の誠を捧げたい。

私自身の闘病を支えてくださっている方々に、私の胸の内に湧いてくる言葉。

「今日も、いつも、ほんとうにありがとうございます。なにひとつ、ご恩返しができませんが、なにとぞお許しください」。

なにひとつ「ご恩返し」ができません……

代表 鈴木恒夫